

# いま、日本語がブーム!

## 重新认识日语的优美和趣味性

收集了日语中“歌舞伎”、“浪花曲”、“诗歌”、“古文”、“汉诗”、“落语”、“绕口令”等名文、名句的背诵教材《声に出して読みたい日本語》(朗读日本語), 销售额超过150万册, 成为2002年的畅销书。由该书作者斋藤孝先生担任监修、以小学低年级学生为收视对象的电视节目《にほんごであそぼ》(用日语做游戏)深受儿童喜爱, 掀起了背诵古典日语中名文、名句的一股热潮。如今, 日语的优美以及趣味性重新被日本人所认识, 《声に出して読みたい日本語》便是一个契机。在书店里设有日语专柜, 陈列着很多以日语为题材的书籍。其中, 有不少书对当今人们使用的日语是否正确提出了质疑。究其背景, 在年轻人中间, 新的语言及表达形式不断产生, 错误的日语正在悄然蔓延。针对这种情况, 指责日语混乱的呼声日益高涨。

斋藤先生认为, 背诵以及朗读在历史中得到筛选和锤炼、滋养丰富的语言能够给身体带来活力, 进而成为精神力量。他主张教育现场应该在能够修身养性的背诵以及朗读方面加大力度。本月号介绍深受日本人喜爱而绵延至今的传统文学和语言艺术作品以及其表现形式。

### 漢文

自古以来, 诞生于中国的《论语》及汉诗词在日本也广为人知。日本称中国的古典文章为“汉文”。采用“汉文训读”方法, 把语法不一致的“汉文”用日语读出来。比较一下汉文原文①②和用汉文训读法翻读出来的日语①'②'吧。创作汉诗在日本也曾盛行, 公元751年, 第一部汉诗集《懷風藻》问世。此后, 汉诗出现繁荣景象, 在文学领域受到高度评价, 同时被知识界视为必修修养。直至明治时代以前, 公文等都是用汉文训读体书写的。至今, 高中的课程里还有学习汉诗及论语等的“汉文”课, 而这“汉文”课成为高中生学习现代汉语的动机之一。

如今的日语以“日语中原有的和语”与“汉文式表达”相交错为“和汉混交文”为基本。和汉混交文的古典名作有《平家物語》《方丈記》《徒然草》等。《平家物語》(见右下③)创作于1200年前后, 是一部描写平安时代享尽荣华的平氏家族兴衰史的战争故事。《方丈記》和《徒然草》都是随笔, 前者创作于1230年前后, 作者鸭长明, 后者创作于1330年前后, 作者吉田兼好。

①

少年易老学難成  
一寸光陰不可輕  
未覺池塘春草夢  
階前梧葉已秋聲

①'

少年老い易く学成り難し  
一寸の光陰軽んずべからず  
未だ覚めず池塘春草の夢  
階前の梧葉已に秋聲

②

子曰、學而時習之、不亦說乎、  
有朋自遠方來、不亦樂乎、  
人不知亦不慍、不亦君子乎

②'

子曰わく、  
学びて時に之を習う、亦た説はしからずや。  
朋あり、遠方より來たる、亦た樂しからずや。  
人知らずして慍らず、亦た君子ならずや。

③

祇園精舎の鐘の聲、  
諸行無常の響きあり。  
沙羅双樹の花の色、  
盛者必衰の理をあらわす。  
驕れる人も久しからず、  
唯春の夜の夢の如し。  
猛き者も遂には滅びぬ、  
偏に風の前の塵に同じ。

#### ③的译文

祇园精舍钟声, 唱诸行无常之音。沙罗双树花色, 显盛者必衰之理。骄者不长久, 犹如春夜梦。勇者终归灭, 不过风前尘。



《ひだまり》的每一期, 都将通过图片和文章来介绍日本年轻人的生活以及当今日本文化为中心题材的《今日日本》, 并介绍以《今日日本》为题材的教学设计, 既可供教师教学时作参考, 还可将《今日日本》贴在教室里, 为学生了解日本提供帮助。



《声に出して読みたい日本語》  
(草思社/ISBN:47942104  
93/2001年9月发行)

#### 注解:

所谓“训读”是采用读法顺序符号把汉文翻读成日语的一种方法。读法顺序符号有“レ”标记、“一、二”标记、“上、下”标记等等。“レ”标记表示先读下面的汉字。而“一、二”标记出现时, 则先读注有“一”标记的汉字, 然后再读注有“二”标记的汉字。

# 短歌

“短歌”是由五七七七七的五句三十一个音节构成的抒情诗。它没有特定的规则，诗中歌颂的主题也没有限制，可涉及到爱情、日常生活以及孩子的成长等方面。短歌出现在7世纪中叶，于780年前后编辑成册的《万葉集》为日本最古老的短歌集，而905年编纂完成的短歌集《古今集》，则是奠定了与汉诗相同地位的名作。

镰仓时代（1192-1333年），家居京都小仓山的诗人藤原定家从《古今集》以及《新古今和歌集》等诗集中选出100位诗人的诗各一首，编纂了《小倉百人一首》。这100首短歌中，接近半数是爱情诗。江户时代以后，使用这部短歌集中的短歌做成的纸牌，成为正月里盛行的游戏。短歌纸牌是3人以上共同参与的游戏，从其中确定一个人来读牌。将短歌的上句（五七五）和下句（七七）拆开，分别写在不同的卡片（纸牌）上。将100张只写有下句的卡片在榻榻米或地板上摊开，读牌的人依次读出上句卡片，其他人要在摊开的卡片中迅速找到并拾起与之对应的下句，抢到下句卡片最多的人是赢家。

在东洋大学，每年都举办“現代学生百人一首”，征集以现代学生的世界观及生活感受为主题的短歌。今年迎来了第18届诗会，共收到应征作品63,330首。这是日本的很多大学兼有宣传目的而举办的各种竞赛活动之一。

# 俳句

“俳句”是五七五的三句定型诗。是以“季语”（表示季节的词语）等为创作规则的日本独特的短诗型艺术，也是世界上最短的诗歌。俳句源于连歌。所谓连歌指几个人交替创作短歌的五七五上句（长句）和七七下句（短句）。据说收录在《万葉集》中的连歌为最古。自江户时代中叶起，富有幽默及讽刺意味的连歌开始盛行，因为使用口语，赢得了百姓的喜爱。同一时代，松尾芭蕉使连歌的上句独立出来，确立了“俳諧の句（俳谐句）”形式。此后的明治时代，正冈子规将其称为“俳句”。

在俳句里，必须有一个“季语”。“季语”是任何人听到它都能够心里描绘出该季节特有景象的词语。收集了大量“季语”的书刊为《歳時記》，在书店里可以买到。季节按旧历分为春（3-5月）、夏（6-8月）、秋（9-11月）、冬（12-2月）。此外，因为仅用极少的文字来表达作者的感情，所以俳句的创作要运用各种技巧。如句末使用断句成分（“かな”、“けり”、“や”等）将意思断开，使用体言结句来省略动词及助词等。

最近，也有很多不受这种俳句规则束缚、形式自由的作品创作出来。像综合饮料厂家“伊藤園”，每年都举办“お〜いお茶新俳句大賞”，这个赛诗会冠以“新俳句”的称呼，允许缺少“季语”或者字数超出规定（文字多于五七五的十七个字），以便众多的人都能应征。今年的大赛是第16届，选出了3,000首获奖作品，并登载在“お〜いお茶”系列饮料的包装上公布。

# 川柳

“川柳”是江户中期开始流行的一种短诗。和俳句一样，是五七五韵律。没有“季语”和断句成分的限制，使用口语。其特征是采用幽默而讽刺的手法来描写人生不易体察的微妙之处、以及社会现象、风俗习惯等。

“第一生命”保险公司每年举办“サラリーマン川柳コンクール（工薪族川柳竞赛）”，选出100首优秀作品。主题是发生在公司或者家庭里的各种故事，很多作品敏锐地反映了各种社会现象。今年举办的第18届竞赛收到应征作品21,878首。

“第一生命サラリーマン川柳” URL ⇨ <http://www.dai-ichi-life.co.jp/>

引于“東洋大学”的第18届“現代学生百人一首”获奖作品

悩んでも立ち止まったりはもうしない  
ゆつくり ゆつくり 歩いて悩む  
縦然苦悩 亦不再停歩 慢慢迈向前方路  
長崎県 山下朋也 17歳

秋風が 君と私の 帰りみち  
手と手をつなぐ理由をくれた  
你我归途手牵手 秋风是理由  
香川県 日比さくら 18歳

抗争と 和解が地図を 分割し  
赤ペンで染まる 世界史年表  
岡山県 藤澤恭行 16歳

左3首引于“伊藤園”的第15届“お〜いお茶 新俳句大賞”获奖作品

古池や 蛙飛び込む 水の音  
蛙人古池塘 唯有水声响  
松尾芭蕉

柿食えば 鐘が鳴るなり 法隆寺  
身在法隆寺 啖柿听钟鸣  
正岡子規

太陽の 光めがけて 逆上り  
迎着阳光 卷身上杠  
大阪府 古家葉月 16歳

天高し 思わず靴を 投げてみる  
碧空晴万里 投履试天高  
愛知県 平岩麻美 15歳

カマキリは カンフー上手で ポーズ決め  
螳螂功夫强 姿势摆得棒  
福島県 大竹淳平 11歳



引于“第一生命”的“サラリーマン川柳コンクール”获奖作品

妻の声 昔ときめき 今動悸  
聞妻声 昔日激动 今日悸动  
紙風船（第17回）

「前向きで」駐車場にも 励まされ  
停车场也在鼓励我 要朝前！  
プラス思考（第17回）

入歯見て 目ははずしてと せがむ孫  
孙儿见我卸假牙，求我再把眼睛摘  
ハッスル爺さん（第11回）





# ひだまり



## フォーラム便り

当財団は、「第2回全中国小学校日本語教師研修会」を8月13日から24日まで、遼寧省瀋陽市（共催：遼寧省基礎教育教研培训中心）で開催し、東三省から約50名の小学校日本語教師が参加しました。授業中に指されても「私なんかできない」と逃げ腰だった研修生の多くが、研修が進むにつれて積極的に発言するようになりました。日本語力が向上したこと、研修生同士、研修生と教師間で生まれた連帯感が、日本語を話す勇気につながったのでしょう。最終日の学習発表会や日本人を招いた交流会は、研修成果の検証の場となりました。

当財団は日中間の学校交流も重視しています。日本語を開設する中国の小学校と日本の小学校との交流の橋渡しをし、東京と遼寧省の間で二組の交流が始まりました。8月には、日本側の小学校関係者が、交流相手校を訪問し、交流を深めました。こうした交流を通じて、中国の小学校の日本語教育を促進し、日中間の相互理解を深めることができらうと思います。

当財団主催の「第8回高校生フォトメッセージコンテスト」の作品集『伝えたい私たちの素顔2004』が発行されました。『ひだまり』の感想を寄せてくれた先着5名の方にこの作品集をプレゼントします。

発行 財団法人国際文化フォーラム

編集人 中野佳代子

編集・制作 飯野典子／千葉美由紀  
長江春子／藤敏敬也

〒163-0726  
日本国東京都新宿区西新宿 2-7-1  
新宿第一生命ビル 26階  
財団法人国際文化フォーラム

電話：81-3-5322-5211  
ファックス：81-3-5322-5215  
Eメール：hidamari@tjf.or.jp  
URL：http://www.tjf.or.jp/

## 固定観念を捨てよう

石涛（済南外国語学校）

私は、2005年1月から3月まで「中国中等学校日本語教師研修（国際交流基金主催）」に参加し、日本に滞在しました。いろいろなことを自分の目で見て、自分の耳で聞いて、日本語教育に対する考え方がだいぶ変わりました。

「日本語課程標準」でも掲げられているように、日本語を教える時には、日本語だけでなく日本文化や日本に関する知識も教えるべきです。しかし、私は以前、日本文化を教える時に、自分が大学で勉強した内容や、当時自分が抱いた日本に対するイメージを生徒に教えていました。例えば、「日本人は働きすぎます」とか、「日本は男性中心の社会です」といったようなことです。今回の研修を通じて、特に加納陸人先生の「教科書と文化」の講義を聴いて初めて、自分が日本文化を教える時に間違いをしていたことに気づきました。社会が変わるにしたがって、文化や考え方も変わります。野村総合研究所が行った1万人を対象にしたアンケートによると、日本人の価値観や考え方は変わってきています。例えば、2000年の仕事派11.6%に対して、家庭派は47.8%でした（[http://www.nri.co.jp/opinion/r\\_report/survey/01.html](http://www.nri.co.jp/opinion/r_report/survey/01.html) 参照）。社会で活躍する女性もずいぶん増えてきました。ですから、「日本人は働きすぎます」「日本は男性中心の社会です」などの見方はもう適当ではありません。このことから分かるように、日本文化に対して「固定観念」を持つてはいけないと思います。

生徒が日本に対してどのようなイメージを持つのかは、日本語教師の影響が大きいです。ですから、日本語教師は自分が持っている固定観念や先入観を改め、相手の文化を見つめ直したほうがいいと思います。また、ほかにも注意すべきことがあります。「日本人」と言う時は、一つの集団を表します。しかし、この集団はそれぞれ違う個人個人からなっています。だから、日本文化を教える時に「日本人は…」という言い方は避けたほうがいいと思います。社会は変化しています。世界は「地球村」となり、各国の文化がお互いに与える影響も大きいです。私たちは自明のこととして固定的に捉えてきた自分の文化を再認識することも必要だと思います。文化だけではなく、社会変化とともに、新しい言葉（流行語）がどんどん出てきます。それに対して、古くなって「死語」になっていく言葉もあります。ですから、日本語教師として「生涯勉強」の自覚を持ったほうがいいと思っています。



# 教学设计

## 面向初中的课堂教学活动设计：拟声词、拟态词

### 语言学习目标：

- 熟记平时经常使用的日语的拟声词、拟态词。
- 掌握日语的节奏感。
- 了解日语的拟声词、拟态词词汇丰富的一面。

### 语言以外的学习目标：

- 通过拟声词的日中比较了解语言的以下特点：如果语言不同，相同的声音，其表现却不相同。

活动时间：30分钟

教具：模造纸/小黑板

## ● 课前准备

将“がちょう があがあ”的表格画在模造纸或者小黑板上(参照附页)。

## ● 授课过程

### 1. 导入

(1) 提出以下问题，让学生想一想动物鸣叫时发出的声音。

#### 示范

- 皆さんの身近にどんな動物がいますか。
- イヌ、ネコ、小鸡……

(2) 让学生用汉语描述以上列举动物鸣叫时发出的声音。

#### 示范

- その動物の鳴き声を中国語で言ってください。
- 汪汪、喵喵、叽叽……

### 2. 学习日语的拟声词

(1) 将事先准备好的“がちょう があがあ”表格展示给学生。

(2) 让学生说出表示②'~⑧' 动物鸣叫声的汉语说法，由教师写入表格内。

#### 提示

此时不要涉及相关的日语说法以及A~J中的拟态词。

(3) 确认了②'~⑧' 的中文说法之后，让学生想一想与其对应的②~⑧的日语说法，并写入表格的备注一栏。提示学生，如果不知道正确的说法或者书写方法，可以凭想象创造词汇。

板书示范：

汉语	日语	※	日语	汉语	备注
鹅	がちょう	は	があがあ①	嘎嘎地①'	
乌鸦	からす	は	②	呱呱地②'	ぐあぐあ、ぐーぐー

(4) 教师将②~⑧的正确答案写入表格内，让学生对照答案。

#### 答案

- ②かあかあ ③ほうほう ④もうもう ⑤げろげろ ⑥わんわん ⑦にやんにやん ⑧ぶーぶー

#### 提示

此时不要只是以“对了!”、“错了!”的确认方式结束，重要的是让学生将自己想象的说法与正确的日语说法及汉语说法作比较，发现其中的异同点。

(5) 做以下总结，归纳日语拟声词概念。

#### 示范

日本語では、このような実際の音をまねて言葉にした語を「擬音語」

と言います。ここでは、①~⑧のような動物の声以外に、⑨のような物事の音を表す語も擬音語です。

### 3. 学习日语的拟态词

(1) 教师做以下说明，然后进行拟态词的学习活动。

#### 示范

①から⑨の音を表す言葉に似た言葉の形として、AからJのような言葉があります。これは物事の様子を表す語で、「擬態語」といいます。

(2) 让学生想一想A~J的词汇分别表示什么状态，并用汉语加以说明。提示学生可以凭想象回答问题。

#### 提示

如果学生难以想象，无法作出正确答案，教师可根据需要通过动作、手势或图画加以提示。图画可以当场画在黑板上，也可以事先画在纸上。

(3) 当学生回答至一定程度，教师将正确答案写入A'~J' 栏，让学生进一步加以认识。

#### 答案

A'：一吐一吐的 B'：呼哧呼哧地 C'：哆哆嗦嗦、颤动 D'：一张一合的 E'：滴滴答答地直往下滴 F'：渴得冒烟 G'：大口大口地 H'：肥肥大大的 I'：松松的 J'：粘糊糊、滑溜溜的

### 4. 朗读诗歌，熟悉日语的节奏

(1) 在表格里填入正确答案以后，教师做以下说明，然后朗读诗歌。

#### 示范

これは和田誠さんの書いた詩集『パイがいっぱい』(文化出版局、2002年)に収録されている詩の一つです。擬音語・擬態語の勉強になりますし、リズムもいいので、みんなで朗読してみましょう。

(2) 让学生随教师一句一句地复读。

(3) 每句由教师读到助词处，剩下的部分让学生读出来。

(4) 按座位排列顺序，每排各读一句。

(5) 第一排学生读到助词处，剩下的部分由下一排学生读出来。照此分排依次读下去。

(6) 全体学生共同朗读全文。

#### 提示

在这项活动中，最重要的是符合节奏。每2个音节打一次拍子容易掌握节奏(在□内的音节处打拍子)。日语中存在拍节，每一个拍节的发音长度基本相同。促音、拗音、拨音为1拍，长音为2拍，对此加以确认。

例：□がちよ□は□あ□あ □から□すは□か□あ□あ

在以上(2)~(6)中，无论哪一种形式，最终目标都是让大家齐声有节奏地朗读出来。也可以让学生在课下做背诵练习，然后利用上课开始的部分时间以背诵的形式开展(4)~(6)的活动。

**语言学习目标：**

- 了解短歌、俳句、川柳的表现形式和内容，能够创作简单的作品。
- 熟悉五七五及五七五七七音拍节奏，掌握日语的节奏感。

**语言以外的学习目标：**

- 了解汉诗及汉文对日语的影响
- 欣赏短歌、俳句及川柳所表现的意境，发现其艺术性，并与作者的

世界观及感受产生共鸣。与此同时培养鉴赏力和想象力。

**活动时间：**45分钟

**教具：**《今日日本》、小黑板或者模造纸

与本期题材相关的初高中《日语》(人民教育出版社)的内容有：9年级下册附录(读解文3：俳句)、第2册第6课(コラム：日本俳句在中国)、第12课(コラム：日本の歌舞伎)。

**● 课前准备**

- (1) 课前1周将《今日日本》贴在教室的墙上，将下周课程的学习内容以及相关内容提问告诉学生，指示全体学生事先阅读。
- (2) 指示学生在《今日日本》里至少选择一条自己喜欢的绕口令，进行充分的练习，以备在下周课堂上表演。

**● 授课过程**

**1. 导入**

- (1) 利用上课开始的部分时间让学生表演绕口令，练习口舌、营造气氛。

**提示**

可以让每个人站起来当场表演，也可以让选择相同作品的学生一同站在教室前面按顺序表演。此时，谁说得最好最快，由坐在观众席上的学生举手以示认可。此外，如果有同学知道《今日日本》中没有介绍的绕口令，也可以让其表演。

- (2) 让学生说明关于《今日日本》中介绍的“日语热”“汉文训读”“和汉混交文”的理解和发现，可以使用汉语。

**2. 欣赏短歌、俳句、川柳**

- (1) 让学生说明短歌、连歌、俳句、川柳的特征，检验学生对此是否已经理解。教师将其重点写在黑板上(参照右下表)。

**提示**

让学生尽可能用日语说明，用日语说不明白的地方可以使用汉语。此时，教师将对应汉语的日语说法提示给学生，并导入相关的表达形式。同时，通过板书落实日语说法。

- (2) 从下表中选出几个词语，写在黑板上，提出以下问题，加深学生对俳句“季語”的理解。

春：霞 水溫む 雛祭り 蛙 梅の花 入学  
 夏：浴衣 ハンカチ 雷 プール 金魚 朝顔  
 秋：月見 台風 柿 紅葉 虫の声 稲  
 冬：小春 除夜の鐘 霜 スキー クリスマス 白菜

**示范**

俳句では普通、季語を使います。黑板に書かれた季語はどの季節を表すか、当ててください。

- (3) 欣赏《今日日本》中介绍的作品。

- ① 随教师将所介绍的作品通读一遍。

**提示**

开始以“五七五七七”的断句方式朗读，然后分上句(五七五)和下句(七七)朗读，最后朗读整首诗歌。每朗读一个音节屈指数一下容易掌握节奏。此时应注意长音为2拍(屈指2次)，促音(っ)、拨音(ん)、拗音(きゃ、きゅ、きょ等)为1拍(屈指1次)。注意数

准拍数，而且每一拍发音长度都要一致，在“五七五七七”各句的断句处稍作停顿，在上句和下句之间停顿稍长一些。凭此感觉便能合上短歌、俳句、川柳的节奏。教学目标就是让学生真实感受到这一点。

- ② 让学生想象每一首短歌都是在什么情况及心境下创作出来的，说出对此的感想。
- ③ 让学生找出每一首俳句的“季語”，并说出联想到哪些情景？如何理解作者当时的心情？对此有何感想？

**答案**

カマキリ、天高し、柿：秋 蛙：春、中间一首没有“季語”

- ④ 让学生说出对每一首川柳感兴趣的部分。

- (4) 学生在短歌、俳句、川柳的形式中任选其一，创作一首作品并写在自己的笔记本上。
- (5) 让一、两个学生发表各自的作品，由教师来检查是否合拍，并让学生说明是一首表达什么心情的作品。
- (6) 作为家庭作业创作一首作品，日后交上来。教师将全体学生的作品张贴在教室里公布。

**提示**

发给学生每人一张评价用彩色纸签，并指示学生在规定期间内将其粘贴在自己喜欢的作品上，由此选出受欢迎的、优秀的作品。

2-(1) 的确认重点

	リズムの特徴	由来・約束事・テーマ
短歌	「五七五七七」の5句31音からなる叙情詩	・7世紀半ばに確立。 ・特に決められたルールはない。 ・テーマは制約がなく、恋や日常生活、子供の成長などさまざまである。
連歌	「五七五」の長句と「七七」の短句を交互に繰り返したもの	・短歌と同じ頃に確立。 ・短歌の上の句と下の句を交互に数人で詠み合うもの。 ・江戸時代からユーモアや風刺を取り入れたものが盛んになり、口語が用いられたため、庶民の人気を集めた。
俳句	「五七五」の3句17音	・江戸時代、松尾芭蕉が連歌の上の句だけを独立させて、「俳諧の句」として確立させた。明治時代に、正岡子規が「俳句」と名付けた。 ・季語を含み、いろいろな技法(切れ字や体言止など)が用いられる。 ・自然や季節の移り変わり、人間の喜びや悲しみを表す。
川柳		・江戸中期頃から流行。 ・季語や切れ字の制約がなく、口語を用いる。 ・人生の機微や世相、風俗を滑稽に、また風刺的に描写する。

语言学习目标：

- 掌握“从粗略到细致”的听解及读解方法。
- 能够用适当的句型来回答询问理由的问题。
- 能够使用表示传闻的“そうだ”。

语言以外的学习目标：

- 通过“落語：寿限無”，让学生了解期盼孩子幸福的心愿是天下父

母共有的，体会寄托在自己名字里的父母的心愿。

- 欣赏日本的传统艺术“落語”，通过与类似的中国传统艺术作比较，思考日中文化的联系。

活动时间：45分钟×2次课+家庭作业

教具：《今日日本》、附录“落語：寿限無”

● 课前准备

- (1)课前1周将《今日日本》张贴在教室的墙壁上，指示学生在下次课之前预先阅读，并将“声に出して読んでみよう”中的“寿限無”抄写在笔记本上，反复练习直至能够流畅、快速地朗读，最好能够背诵下来。
- (2)教师也要预先充分地练习附录的“落語：寿限無”全文，以备下次课上能够流畅地、有节奏地、抑扬顿挫地朗读给学生听。

● 授课过程

【第1次课堂活动】

1. 导入

2人1组相互表演一次《今日日本》中介绍的“寿限無”，之后让几个学生在全体学生面前展示朗读及背诵练习的成果。

提示

在这里一概不要涉及“寿限無”的意义。把“这是什么？”的疑问留给学生，后面的“落語：寿限無”的听解及读解活动会更加精彩。

2. 听解、读解活动

(1)提出以下问题，然后教师将“落語：寿限無”全文朗读给学生听。

示范

皆さんが練習した『寿限無』は落語の寿限無の一節です。寿限無は何のことでしょう。それを考えながら聞いてください。

(2)让学生回答何为“寿限無”（答案：赤ちゃんの名前です）。

(3)提出以下问题，然后将附录“落語：寿限無”的复印材料发给学生，让学生参照词汇表达一览表进行默读，并写出文末所提问题的答案。

示范

なぜこういう長い名前になったのか、それを考えながら、語彙表現リストを参考にして各自黙読して、それから、質問に答えてください。

提示

如果教师不能熟练地读出“落語：寿限無”，或者学生的听力水平太低，可以在提出何谓“寿限無”的问题之后，直接进入(3)的默读活动。但要让学生首先找出何谓“寿限無”的答案（即：婴儿的名字）之后，再进入详细阅读并回答文末所提出的问题。

3. 归纳

(1)让学生说出问题的答案，并就此进行对照。

答案

①千年はけち臭いから。②親より早く死ぬから。③期限付きではなく、無期限の名前を要求しました。④妻と相談したいから。⑤由来が分からないから。⑥いいえ、伝えませんでした。全部忘れてしまったから。

⑦今一つに決めても後で後悔するし、どの名前を捨ててももったいないから。⑧長すぎて、会話しているうちに時間が経ってしまったから。

(2)让学生谈一谈关于“落語：寿限無”的感想。

4. 家庭作业

- (1)将类似于“落語”的中国“相声”和“落語”作比较，归纳其相似点和不同点。
- (2)让学生熟读“落語：寿限無”，利用辞典等工具书完全理解每个词汇的意思之后，进行朗读练习。
- (3)让学生做以下调查：自己的名字是谁给起的？其中有什么寓意、寄托着怎样的心愿？

提示

“相声”有“单口相声”和“对口相声”，“落語”类似于“单口相声”。而类似于“对口相声”形式的日本曲艺有“漫才”。

【第2次课堂活动：检验家庭作业】

1. 中日语言文化比较

让学生说出“落語”和“相声”的异同点，教师将重点部分写在黑板上加以说明。

2. 检验课下熟读成果

让学生使用“そうだ”来说明“寿限無”名字中的以下每一个词语的由来，并根据需要落实每个词语的意思。

- ①寿限無②五劫の擦り切れ③海砂利、水魚④水行末、雲未来、風未来⑤食う寝るところに住むところ ⑥藪ら柑子 ⑦パイポのシューリンガンとグレーンダイ ⑧ボンポコピーとボンポコナー（答案请参照“落語：寿限無”的原文）

3. 发表关于名字的调查结果

(1)让5~6名学生使用“そうだ”对自己名字的由来进行说明。

示范

- ・私の名前は〇〇がつけてくれたそうです。
- ・～という意味だそうです。
- ・～になってほしいと願ったそうです。

(2)让学生2人1组，向(1)那样相互介绍。

(3)让学生使用“そうだ”发表同组伙伴姓名的由来。

提示

在进行(1)至(3)的活动时，教师要重点词语写在黑板上，以便大家一起来确认。

如：成功するように、金持ちになるように、学問があるように、美しくなるように、幸せになるように…。

任何一个名字都会寄托着父母期盼孩子幸福的一份爱。重要的是向学生传达一种信息：应该为自己的名字感到自豪、对他人的名字给与尊重。

(4)让学生举手回答为自己起名字的人,并进行数字统计。教师将统计数字写在黑板上。

#### 示范

- ①おじいさんやおばあさん〇〇名 ②両親〇〇名 ③親戚〇〇名  
④名づけ会社〇〇名 ⑤その他(具体的に聞く)

### 教法指点

在平时的日语课堂上,学习日语对学生而言往往只是为学习而学习,为考试而学习。希望在学习本次主题“いま、日本語がブーム(当今,日语是新潮!)”的内容时,让学生意识到以下事实:第一,自己所学习的日语绝不仅仅是用于应付学习和考试的手段,而是以各种各样的形式扎根于日本人的日常生活及文化、社会之中的一门活语言,具有一定的欣赏价值、趣味性和幽默感。第二,日本的语言,如汉诗、汉文等例所示,在历史上以及文化上都与中国有着千丝万缕的联系。

首先,在学习拟声词、拟态词的活动,最关键的是,将日语和汉语进行比较,发现共同点和不同点。通过学习日语加深对自己语言的理解,这也是学习外语的重要意义之一。“啊!日语是这么说的”、“这个日语发音真有趣儿”、“这个词,还是汉语听起来更接近实际”……,像这样,营造一种学生能够在班级里自由交流的气氛。

近年来,朗读的效果倍受瞩目,有说法认为,朗读时发出来的声音能够刺激大脑使其进入活跃状态。据说默读或者在电脑上浏览网页则达不到这种效果。所以,作为课堂教学的一项活动,像朗读“かちょうがあがあ”这首诗一样,开展有节奏的朗读活动也不失为一种好方法。那么,在课堂上是应该高声朗读还是应该安静地默读呢?重要的是要根据学习目的来适当地选择阅读方法。

其次,谈一谈关于欣赏短歌、俳句、川柳活动。短歌、俳句和川

### 4. 朗读“落語:寿限無”

(1)3人1组,如下分角色朗读:

①朗读“〈 〉内的场景说明部分+妻+近所の子”台词的人 ②朗读“八五郎”台词的人 ③朗读“和尚さん”台词的人

(2)分角色从头至尾朗读“落語:寿限無”

(3)让愿意挑战的小组在全体同学面前表演。

柳都是历史悠久的传统艺术,直到现在,每天的晨报都少不了为读者开设的俳句及川柳的投稿专栏。如今,有不少日本学生以及年轻人乐于创作“手机短歌”,使用手机创作短歌,向广播电台或者杂志投稿,或在网络上发送稿件。教师可以尝试将学生的佳作向“土曜の夜はケータイ短歌(<http://www.nhk.or.jp/tanka/>)”投稿应征。如果你的学生专注于边屈指查拍数边作日语诗,学习日语的热情也会更高。

最后,谈一谈关于“朗读和欣赏落语”活动。作为活动示范之一,有一项活动(第1次课中的2听解、读解活动)让学生阅读文章,找到给孩子起名为“寿限無、寿限無、五劫の……”的理由。此时让学生安静地默读是关键。所以不必让学生在课前背诵该落语的全文。也不必在学生朗读之前由教师领读全体学生跟着复读。更没有必要首先给学生提示全文翻译并加以解说。在这里,必要的活动是让每个学生都要阅读文章,以便找到教师所提示的课题答案。这里布置给学生的课题不要太多,不必给10个或者20个。即使要阅读的文章里有很多未知的单词以及有一定难度的表达形式,但为了解决老师布置的课题必须去读这篇文章,在这种情况下才能够培养学生的“从粗略到细致”的阅读能力。

有马淳一

国际交流基金日本語国际中心专任讲师

### 合作学习和人文素养

在外语交际性的练习活动中,我们提倡合作学习,这是完成任务的需要。合作的观念在学习中会对学科形成积极的促进作用,在培养学生的人文素养方面起着十分重要的作用。

合作是人类在生存中互相发挥作用的基本形式之一,国家和世界的进步都需要各方面的合作。合作学习、合作完成任务型的交际活动可以发展学生的多种能力,所学的知识、技能用于和他人的合作性的互动之中,才能真正地体现知识、技能的价值。在社会生活中,人们的生活就是分工、合作、协助、交流。合作学习、合作完成任务可以使学生会学、善于学、乐于学。

口语交际运用有声语言来实现传情达意的目的,有声语言是通过听和说的活动具体体现的。口语交际必须听和说,“听话”既可以训练对“说话人”的尊重(听时的神态,视线的朝向、体态语等),又可以训练“听话人”接受信息的技能(快捷、正确、选择重要信息、储存、临场应答的准备)。“说话”既可以训练对“听话人”的礼貌(说时的表情,语气、眼神、音量的大小、体态语等),又可以训练“说话人”传递信息的技能(逻辑性、自然流畅、简洁、条理性、语汇的选择、节奏起伏、感染力、亲切、贴近生活)。“听话”和“说话”是围绕一个或若干个任务有条理地展开的,由于角色的可变性,可以训练双方的思维敏捷性、应变技能。“听话”

和“说话”的活动需要双方的合作,没有一定的人文素养则很难合作。在合作中培养学生的人文素养是十分重要的,例:“说话人”犹豫时,“听话人”鼓励“说话人”讲下去;“听话人”没有听清楚时,“说话人”耐心地重复。“听话人”和“说话人”的密切合作促进了交流的顺利进行。

合作中有交流、讨论、协商等活动,这些活动有助于学生间的理解,可以培养集体主义精神。团队目标是每个成员的目标,互相合作和依赖、分工负责和个人责任感等都会在完成任务的活动中得到充分体现。同时,活动中必然会产生辅导者和被辅导者,合作完成任务有利于巩固辅导者已学的知识,并促进被辅导者自主学习的欲望。

合作学习、合作完成任务可以把语言的交际性和人文素养的培养紧密地结合在一起,丰富学生的情感,使学生获得交际知识和交际技能、提高待人处事的能力,在合作中逐渐地确立正确的价值观。一个优秀的日语教师必须全面提高学生综合运用日语的能力和培养学生的人文素养。

张国强

中国教育学会外语教学专业委员会 秘书长、日语部部长